

競技注意事項

- 開催日及び 令和3年7月3日(土)・4日(日)
- 会場 レモンガススタジアム平塚
- 規則 2021年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。
- 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラムの誤記訂正は8時30分までに本部記録係へプログラムに添付してある所定の用紙で届け出る。
- 練習
 - 本競技場及び第一練習会場、公園内の園路等を使用する。ただし、投擲・跳躍の練習は審判の指示に従って行うこと。なお、本部のアナウンスに注意し、その指示に従うこと。
 - 公式練習 走高跳はバーをかけずに1回の助走練習と、男子1m60、女子1m30の高さで1回認める。棒高跳は同一高さで2回までの練習を認める。ただし高さは、2m80、3m50、4m00から選択する。
 - 競技者以外の練習は認めない。
- 競技用靴
 - 2021年度日本陸上競技連盟競技規則(TR5:シューズ)を適用する。靴底の厚さが800m未満のトラック種目は20mm、800m以上のトラック種目は25mmを超えるシューズを使用することができない。フィールド種目は、スパイク、投擲シューズについては適用除外とする。ただし、それ以外のシューズについてはTR5を適用し、シューズの計測を行う。
- 招集
 - 通常の1次コールは行わない。所定の時間までに集合場所に集まり、最終コールを受ける。

集合場所と種目	集合時刻
集合場所：北マラソンゲート付近 100m・110mH(四種含む)・100mH(四種含む) 200m・3000m・砲丸投(四種含む)・走幅跳	トラック種目(予選・四種) 競技開始30分前 トラック種目(決勝) 競技開始20分前 走高跳、走幅跳、砲丸投 競技開始45分前
集合場所：南マラソンゲート付近 400m・800m・1500m・走高跳(四種含む) 棒高跳	棒高跳 競技開始90分前 ※競技順序を確認すること

- 招集後、競技役員が競技場所へ誘導する。
 - 競技場所へ移動した後は、所定の場所で体を動かして良い。
 - 短距離種目は2つ前の組、長距離種目は1つ前の組がスタートした時点で再度集合する。フィールド種目は、呼び出しがかかった時点でピットに出る。
 - 招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
 - 集合場所での受付は本人が必ず行うこと。このときアスリートビブス(ナンバーカード)、腰ナンバー標識、シューズもしくはスパイクの確認を行う。(ピンの長さはトラック競技他9mm以下、走高跳12mm以下)
- アスリートビブス(ナンバーカード)
 - 胸、背に確実にとめる。ただし、跳躍種目は、背または胸につけるだけでもよい。
 - 布の大きさは、横240mm、縦160mmとし、数字は高さ10cm以上、幅5cm以上で太く飾り文字は使わない。白布には番号だけを記入し、学校名等は記入しない。男子は黒字、女子は赤字。ただし旧基準(白のB5版の大きさの布、男子黒、女子赤字で飾り文字は使用しない)のアスリートビブスの使用を認める。
 - トラック種目では大会主催者が用意した腰ナンバー標識を使用する。(安全ピンは持参)選手は集合時刻までに競技者係(北マラソンゲート外)で受け取り、右腰に付けておく。また、3000mは特別ナンバーカードも受け取り、胸と背に付けておく。競技後に回収はしない。
 - スタート
 - スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。四種競技は、各レースで2回目以降の不正スタートをした者が失格となる。
 - 2021年度日本陸上競技連盟競技規則(TR16.5:スタート)の適用はしない。不適切行為があった場合、注意を与える。
 - 3000mについては2段スタートで行う。

- 計測
 - トラック
すべての競技者のタイムを計測する。ただし中長距離種目は競技進行上制限タイムを設け、下記の時間を超過した場合はただちに競技を終了する。

共通	800m	1500m	3000m	1年男子1500m 1年女子800m
男子	2分30秒	5分00秒	10分40秒	5分40秒
女子	2分50秒	5分40秒	—	3分00秒

・フィールド計測ライン

	男 子	女 子
走幅跳	5m30(共通) 4m20(1年)	4m10(共通) 3m80(1年)
砲丸投	9m50	9m00
走高跳	1m65 (5cm)・1m85 (3cm)	1m35 (5cm)・1m60 (3cm)
四種高	1m45 (5cm)・1m65 (3cm)	1m20 (5cm)・1m40 (3cm)
棒高跳	3m00 (10cm)・4m00 (5cm)	

- ・走幅跳・砲丸投については、予選の計測ラインとする。
- ・フィールド計測ライン及びバーの上げ方は上記の通り。ただし当日の状況により変更することがある。

1 1. 予選通過及び決勝について
トラック

- ・全ての競技者のタイムを比較し決勝進出を決める。同タイムの場合細部まで拡大して読みとり着差をつける。それでも決定できない場合、100m・200m・400m・ハードルは抽選とし、800m・1500m・3000mは次のラウンドに進出できる。
- ・3年100m・200m・400m・共通800m・110mH・100mHは、予選の上位8名でA決勝（1位～8位入賞決定）を、予選9位～16位でB決勝（9位～16位決定。いかなる記録でも入賞の対象外とする。）を行う。
- ・1500mは15名、3000mは18名で決勝を行う。

フィールド

- ・共通走幅跳・共通砲丸投は予選を行い、予選通過ラインを全国標準記録とする。予選通過ラインを超えた者が12名に満たない場合は、上位12位以内の選手で決勝を行う。
- ・予選通過ライン

	男 子	女 子
共通走幅跳	6 m 5 5	5 m 4 5
共通砲丸投	1 3 m 0 0	1 2 m 5 0

1 2. 表 彰

- ・表彰式は行わない。各種目とも8位までに賞状を授与する。該当者は正式記録通告があった後、表彰係（中央ロビー付近）に表彰状を取りに行く。

1 3. 開・閉会式

- ・今年度は行わない。

1 4. 応 援

- ・各校付き添い1人とその日出場する選手以外の来場を認めない。
- ・競技場内、練習場、招集場所には、付き添わない。
- ・競技役員の指示に従い、他の選手との距離を十分確保すること。
- ・大きな声での会話や声を出しての応援、集団応援はしない。
- ・のぼり旗・応援横幕の設置は禁止する。

1 5. 全般に渡る
注意点

- ・3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を回避する行動をとる。また競技役員の指示に従い、自分でも適切な判断をして行動すること。
- ・こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。
- ・競技中不用意に手で顔を触らないよう気をつける。
- ・競技終了後の手洗い・手指消毒を徹底する。
- ・全員がマスクを着用し、咳エチケットを遵守する。ただし、競技中や熱中症対策として息苦しさを感じた場合はマスクを外し、無理をしないこと。
- ・競技者にはレース(試技)中のマスク着用は義務づけがないが、招集中・移動中・待機中などは熱中症に気を付けながらマスクを着用する。
- ・競技者同士の会話は極力避けること。つば、たんを吐く行為は行わない。
- ・招集後は荷物をビニール袋に入れ、所定の場所に置く。ビニール袋に学校番号を書くこと。

1 6. その他

競技場の利用のしかた

- ・「平塚競技場使用上の注意・お願い」参照。

